(第1面)

産業廃棄物処理計画書

25年 6月25日

大分県知事 広瀬勝貞殿

提出者

住 所 大分県日田市大字日高3040番地

株式会社 谷組 代表取締役 大関 朗 氏 名

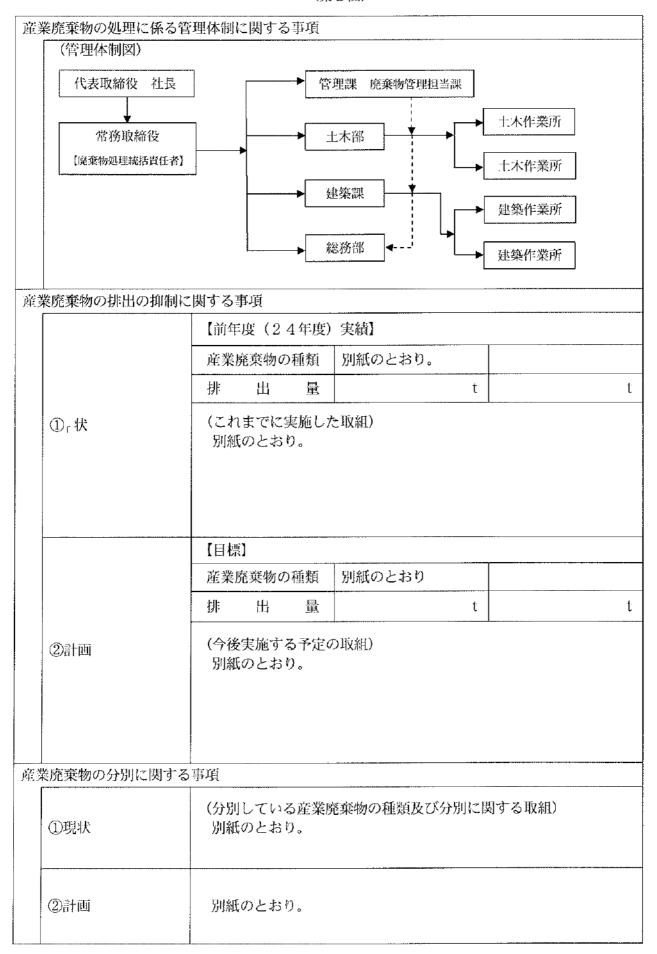
代表者

電話番号 0973-22-7175

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社 谷 組
耳	業場の所在地	大分県日田市大字日高3040番地
計	画 期 間	
当清	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	① 事業の種類	06:総合工事業
	②事業の規模	資本金3800万円 24年度完工高 446, 412千円 内17, 800千円 (解体工事) 25, 6, 28
	③従 業 員 数	24人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	旧建築物解体:がれき類→再生処理業者に委託し再生砕石として再生資源化 木くず類→再生処理業者に委託しチップとしてサマル財イかル 混合物類→自社処分場又は、最終処分業者に委託して埋立処分 ボーリング・基礎工事:汚泥→中間処理業者に委託し脱水後、埋立処分又は改良 土として再利用。 建設工事:廃プラスチック類 →再生処理を委託するか自社処分場で埋立処分 がれき類 →リサイクル処理業者に委託又は、自社処分場で最終 処分する。

(日本工業規格 A列4番)



自	ら行う産業廃棄物の再生	:利用に関する事項		
		【前年度(24年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
		自ら再生利用を行った	t	t
	①r状	産業廃棄物の量	ALALAU WARANA WARANA	
		(これまでに実施し) 別紙のとおり。	た取組)	
		が明れていてもの。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
		自ら再生利用を行う	t	t
	②計画	産業廃棄物の量		
		(今後実施する予定の 別紙のとおり。	の取組)	
		がかがかって42 0°		
自	ら行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項		
		【前年度(24年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
		自ら熱回収を行った	t	t
		産業廃棄物の量自ら中間処理により減量した		
	① ,現状	産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した	と取組)	
		別紙のとおり。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
		自ら熱回収を行う	t	t
		産業廃棄物の量	L	
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の	の取組)	
		別紙のとおり。		

É	ら行う産業廃棄物の埋立	. 処分又は海洋投入処分	に関する事項	
		【前年度(24年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	① _r 状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した 別紙のとおり。	三取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の 別紙のとおり。	D取組)	
産	業廃棄物の処理の委託に	関する事項		
		【前年度(24年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
	①,状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(これまでに実施した 別紙のとおり。	上取組)	

(第5面)

	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の 別紙のとおり。	の取組)	
※事務処理欄			

(第2面) 別紙 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 24 実績】 【前年度 (年度) 産業廃棄物の種類がれき類 木くず 金属くず ガラス・陶 廃プラス |廃石膏ボー ||紙くず 繊維くず 現 チック 磁器 状 量 3,061.83 1 10.33 12.72 1.95 48, 87 14,99 0.66排 7.59混合 汚泥 石綿含有産 産業廃棄物の種類 業廃棄物 0.8069.347.14 (これまでに実施した取組) ・廃棄物の発生抑制を考慮した工法と資材等の採用 ・型枠材等は、清掃や管理養生を行い繰り返し使用する。 【目標】 産業廃棄物の種類がれき類 木くず 金属くず ガラス・陶 廃プラス 繊維くず 廃石膏ボー 紙くず 計 磁器 チック 圃 量 1,500.00 + 5.005.00 30.00 5.00 5.00 0.101.00 混合 石綿含有産 沔泥 産業廃棄物の種類 業廃棄物 0.00出 屋 50.000.00(今後実施する予定の計画) ・型枠材等は、清掃や管理養生を行い繰り返し使用する。 ・廃棄物処理は、リサイクル施設へ排出するとともにリサイクル資材を積極的に使用する。 ・廃棄物の分別を確実に行い最終処分量を削減・木材等は、サーマルリサイクルを行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

現 获

・がれき類、魔プラスチック類、金属くず、木くず、ガラス・陶磁器、紙くず、繊維くずはそれぞれに分別し、リサイク ル出来る物は リサイクル施設に処分を委託している。

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

2 計 圃

特になし。

	【前年度 (24		実績】	~~~									
-	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属<	゚゙ヺ゚	ガラス・陶 磁器	廃プラス チック	 廃石膏ボー ド	紙くず		繊維くる		
状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1 (1 (11)	t 0.00	: 0.0	0 ι	t	0.000	0.00	0.00	ι	0.00		
	産業廃棄物の種類	j 汚泥	混合						***************************************				
	自ら再生利用を行った		1	1		1			τ.	t			
	産業 産業 物 の 量 0.00 (
	・ <i>な</i> し。												
②	【目標】	Takin et #s	木くず	LA FZ	, ¹ 2,	Jan da		िक्षिक प्रशासक असे	lon: ৴ ᠳ²		6H: 6IL > 3		
) 計 画	産業廃棄物の種類		1 9	金属<	. 9	ガラス・陶 磁器	廃プラス チック	廃石膏ボー ド	紙くず		繊維く		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0.00	0.00	t 0.0	0 ι	0.00	0.00	0.00	ι 0.00	ı	0.00		
	産業廃棄物の種類	1	混合										
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		1 0.00	i i	ι	t				t			
	(今後実施する予						1			I.	***		
	 行う産業廃棄物の「 【前年度 (24		関する事項 実績】										
① 現	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属<	्रवे"	ガラス・陶 磁器	廃プラス チック	廃石膏ボー ド	紙くず]	繊維く		
		1											
	自ら無回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0.00	0.00	t 0.0	0 1	0.00	0.00	0.00	0.00	ι	0.00		
状		0.00	0.00	1 0.0	0 1	0.00	0.00	0.00	0.00	1	0.00		
状	産業廃棄物の量 自ら中間処理により	0.00	2 0.00 2 混合	1 0.0	0 1	0.00		0.00	0.00	1	0.00		
状	産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った	汚泥	t	1 0.0	0 1	0.00		0.00	0.00	1	0.00		
状	産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら無回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により	75泥 0.00	t	1 0.0	1	0.00		0.00	0.00	1	0.00		
**	産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら無回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の最	75泥 0.00	t	1 0.0	1	0.00		0.00	0.00	1	0.00		
**	産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら無回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により	75泥 0.00	t	1 0.0	0 1	0.00		0.00	0.00	1	0.00		
(状)	産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら無回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の最 (これまでに実施	75泥 0.00 した取組)	混合	1	t t		1	0.00	1				
2計	産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら無回収を行った 業廃棄物の量 は最した産業廃棄物の最 (これまでに実施 ・特になし。 【目標】 産業廃棄物の種類	がわき類	t	1 0.0	t t	0.00 ガラス・陶 磁器	1	0.00	がくず				
2計画	産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施 ・特になし。	がれき類	混合	1	1	ガラス・胸	廃プラス	0.00 廃石膏ボー	1				
2計画	産業 廃棄物の最 自ら中間処理により 延業を物の最 産業を変物の種類 自ら業 原発 関東型理にを 主要を 自ら 業 内の は は は した産業が の を 行っ と が に より は は した産業が の は した産業が の は した産業が で に より は した た ま っ した た れ し た れ し た れ し た れ し た れ し た れ し た し た	がれき類 0.00	混合	1 金属<	1	ガラス・陶	廃プラスチック	の.00	れくず 		繊維くる		
(状) 2計画	産業廃棄物の量 自ら中間処理により 延業原棄物の種類 自ら無関収を行った 業廃棄物の種類 自ら無関収を行った 業廃棄物の最り した産業があいます。 (これまでに実施 ・特になし。 「目標】 産業廃棄物の最 り が の の の の の の の の の の の の の の の の の の	がれき類 0.00	混合	1 金属<	1	ガラス・陶	廃プラスチック	の.00	れくず 		繊維くる		
(状) ②計画	産業原理なりの最近では、 産業を関連を対の最近では、 産業を関する。 産業のでは、 自産のでは、 自産のでは、 自産のでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	がれき類 0.00 がれき類 0.00	木(ず) 0.00	1 金属<	1	ガラス・陶	廃プラスチック	の.00	れくず 		繊維くる		
(状) 2計画 2計画	産業 廃棄物の最上の企業を表現のの最近にた産業をある。 産業を物の最大の企業を表現のでは、 自ら、主要を表現である。 自ら、無対のでは、 自ら、無対のでは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	がれき類 0.00 がれき類 0.00	木(ず) 0.00	1 金属<	1	ガラス・陶	廃プラスチック	の.00	れくず 		繊維くる		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

1	_	【前年度	(24	年度)	実績】							
	① 現山	産業廃棄物			木くず	金属くす	* ガラ: 磁器	ス・陶 廃: チ:	プラス 廃 ック ド	石膏ボー 紙くず	* 繊維くす*	
		自ら 埋立処 海洋投入処分。 産 業 廃 乗 *	を行っため の 最	32, 950	1 0.00	t 1. 25	1 0.0	00 0	. 310	0.00 1 0.00	0.00	t
		産業廃棄物			混合							
		自ら埋立処 海洋投入処分を 産業産業	を行った	0.00	0. 57	1	·	ι	1	t	t	t

(これまでに実施した取組)

・自社の直接工事分のリサイクル出来ないものについては、自社の処分場に排出している。

-	 【目標】								
	産業廃棄物の種類		木くず	金属くず	ガラス・陶 磁器	廃プラス チック	廃石膏ボー ド	紙くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業 廃棄物の量		t	t	t t	,	1	t	ŧ
	産業廃棄物の種類	汚泥	777777						
-	自ら 埋立 処 分 又 は 海洋投入処分を行う 産 薬 廃 棄 物 の 最	0. 00	ι	t	t t	,	1	t	1

(今後実施する予定の計画)

・自社請負工事分についても、自社の処分場で処分するようにしたい。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度 (24	年度)	実	續】						********
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類		木くず	金属くず	ガラス・陶 磁器	廃プラス チック	廃石膏ボー ド	紙くず	繊維くず
11.5	全処理委託量	3, 028. 88	t	48, 87	6, 34	14. 99 :	10. 02 t	12,72 1	0, 66 +	1. 95
	優良認定処理業者 への処理委託量		ı	1	1	t	t	t	t	1
	再生利用業者 への処理委託量	3, 028. 88	ı	48, 87	1	ι		ı	t	1. 95
	認定熱回収業者への処理委託料		t	τ		ı	t	ŧ		t
	認 定 熱 回 収 業 者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		ı	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥		混合						
	全処理委託量	69. 34	t	6. 57	t	1	ı	ı	t	ι
	優良認定処理業者 への処理委託量		t	t	ι		1	ı	ŧ	•
	再生利用業者 への処理委託量	69. 34	.	. t	į.	1	1	t		t
	認定熱回収業者への処理委託料		1		t	t	1	t	t	1
	総定熟回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託庫		1		ı	t	1	t	t	L

(これまでに実施した収組)

・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。

① 計 画	産業廃棄物の種類	がれき類		木くず	金属くず	ガラス・陶 磁器	廃プラス チック	廃石膏ボー ド	紙くず	繊維くず
Het	全処理委託量	1,500.00	'	30, 00 ↔		t l	,	,	1	1,00
	優良認定処理業者		1				,		1	
	への処理委託量									
	再生利用業者		,	ι		t t	ι .	,	1	
	への処理委託量 認定熱回収業者					-				
	品 に		d	1		1	ı	t t	1	
	認定熟回収業者		- 1							
	以外の熱回収を行う		t	1			t	٠ (1	
1	業者への処理委託量	汚泥	_				***************************************	***************************************		***************************************
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量	80. 00	t	(t t	t	t	t	
	優良認定処理業者		.							
	への処理委託量		`[,		t t		τ	l '	
- 1	再生利用業者		,	1		t		t] ,	,
	への処理委託量								Ì	
	認定熱回収業者		t	ŧ		: .	t.	1	ι .	
	への処理委託料 認定然回収業者		-							
	以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		ı	ı	1	1	t	τ	1	
	(今後実施する予)	定の取組)				•				
ĺ										